

# やまなし 市議会だより

平成26年11月21日

## 第39号



園児と家族の皆さん方でサツマイモ掘りを行いました（山梨市八日市場保育園）

### 平成25年度一般会計・特別会計・企業会計歳入歳出決算を認定

一般会計の歳入総額は189億3,575万円余、歳出総額は179億932万円余で、翌年度への繰越財源を控除した実質収支額、平成26年度への繰越金は、6億4,014万円余

平成26年9月定例会は、9月2日に招集され、30日までの29日間の会期で開催されました。この定例会では議員提出議案1件と、補正予算や条例の制定・改正など市長提出議案30件を審議しました。

また、平成25年度一般会計・特別会計・企業会計歳入歳出決算認定議案については、決算特別委員会で審査が行われました。

この結果、すべての議案を原案のとおり可決・認定・適任と認めとなりました。なお、請願については1件採択されました。

#### おもな内容

議案等審議結果	2	常任委員会の審査	8～9
平成25年度決算を認定	3	常任委員会行政視察・編集後記	10
市政一般質問	4～8		

【発行】 山梨市議会 〒405-8501  
【発行者】 山梨市議会議長

山梨県山梨市小原西843番地 TEL0553-22-1111(代)  
【編集】 やまなし市議会だより編集委員会

9月定例会議案  
審議結果

議員提出議案

○山議案第三号  
手話言語法制定を求める意見書の提出について(原案可決)

市長提出議案

○議案第五十一号  
山梨市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例について(原案可決)

○議案第五十二号  
山梨市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例について(原案可決)

○議案第五十三号  
山梨市福祉基金設置及び貸付けに関する条例等の一部を改正する条例について(原案可決)

○議案第五十四号  
山梨市税条例の一部を改正する条例について(原案可決)

○議案第五十五号  
山梨市情報通信センター設置及び管理条例を廃止する条例について(原案可決)

○議案第五十七号  
平成26年度山梨市国民健康保険特別会計補正予算(第一号)(原案可決)

○議案第五十八号  
平成26年度山梨市後期高齢者医療特別会計補正予算(第一号)(原案可決)

○議案第五十九号  
平成26年度山梨市下水道事業特別会計補正予算(第一号)(原案可決)

○議案第六十号  
平成26年度山梨市介護保険特別会計補正予算(第一号)(原案可決)

○議案第六十一号  
平成26年度山梨市簡易水道事業特別会計補正予算(第一号)(原案可決)

○議案第六十二号  
平成26年度山梨市活性化事業特別会計補正予算(第一号)(原案可決)

○議案第六十三号  
平成26年度山梨市水道事業会計補正予算(第一号)(原案可決)

○議案第六十四号  
平成26年度山梨市病院事業会計補正予算(第一号)(原案可決)

○議案第六十五号  
字の区域の変更について(原案可決)

(原案可決)

○議案第六十六号  
山梨市土地開発公社の解散について(原案可決)

○議案第六十七号  
平成25年度山梨市一般会計歳入歳出決算認定について(原案認定)

○議案第六十八号  
平成25年度山梨市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について(原案認定)

○議案第六十九号  
平成25年度山梨市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について(原案認定)

○議案第七十号  
平成25年度山梨市交通・火災災害共済事業特別会計歳入歳出決算認定について(原案認定)

○議案第七十一号  
平成25年度山梨市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について(原案認定)

○議案七十二号  
平成25年度山梨市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算認定について(原案認定)

○議案七十三号  
平成25年度山梨市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について(原案認定)

○議案七十四号

平成25年度山梨市居宅介護予防支援事業特別会計歳入歳出決算認定について(原案認定)

○議案第七十五号  
平成25年度山梨市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について(原案認定)

○議案第七十六号  
平成25年度山梨市活性化事業特別会計歳入歳出決算認定について(原案認定)

○議案第七十七号  
平成25年度山梨市水道事業会計決算認定について(原案認定)

○議案第七十八号  
平成25年度山梨市病院事業会計決算認定について(原案認定)

○議案第七十九号  
平成26年度山梨市一般会計補正予算(第三号)(原案可決)

○諮問第二号  
人権擁護委員候補者の推薦について(適任と認める)

【請願】

○請願第五号  
手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願書(採択)

9月定例会提出議案について議員賛否が分かれたものの状況(議長を除く)

※賛：原案に賛成 反：原案に反対

議員名	木内 健司	根津 和博	武井 寿幸	三枝 正文	乙黒 泰樹	矢崎 和也	土屋 裕紀	村田 浩	深沢 敏彦	大竹 裕子	大村 政啓	飯嶋 賢一	古屋 弘和	吉田 昭男	雨宮 巧	小野 鈴枝	古屋 雅夫	議決結果
議案	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	原案認定

平成25年度決算を認定

平成26年9月定例会において設置された決算特別委員会は、9月22・24・25日の3日間にわたり開催され、平成25年度各会計歳入歳出決算認定議案について、効果的な執行がなされたか慎重に審査されました。

- 委員長 大村 政啓
副委員長 三枝 正文
委員 吉田 昭男
飯嶋 賢一
古屋 雅夫
村田 浩
矢崎 和也



決算特別委員会における質疑(要旨)

問 予算に対する市債の決算額が60・6%であるがその理由及び地方交付税が前年に比べて増加した要因について伺いたい。

答 市債については、平成26年度へ事業繰り越ししている分については借り入れができないことが要因である。また地方交付税のうち特別交付税の増加の要因は、豪雪に伴う経費の増加によるものであり、普通交付税の増加の要因は、地域の元気づくり推進費の新設に伴うもの等である。

問 財政調整基金への積立額を増やしたことによる実施事業への影響はなかつたか、また基金を増やす目的は何か。

答 地域の元気づくり推進費が交付されたことにより、一般財源に余裕が生じた分について積み立てたもので、事業実施への影響はない。平成27年度以降、普通交付税の減額が見込まれる中、市税の増収も見込まれない。積み立てられるときに積み立てておき、今後の財政需要に備えたい。

問 牧丘支所及び三富支所の職員体制について、臨時職員を配置しているのは、職員数が不足しているからか、あるいは専門的な要素を必要としているからか。

答 業委員会の業務に精通した臨時職員一人を配置して、

比較的件数が多い窓口の対応に当たっている。他の一人は正職員の業務を補完するために配置している。三富支所においても正職員の業務を補完するために配置している。

問 土地改良事業経費に関して、県営畑地帯総合整備事業及び県営ため池等整備事業の進捗状況を見ると、計画年度に完了できないように思われるが、今後の展望と市の考え方を伺いたい。

答 予算の確保の問題及び所有権移転登記が困難な土地があることなどが、事業の進捗に影響を与えている。

問 社会福祉費の委託事業に関して、社会福祉協議会へ多くの事業を委託しているが、執行状況を伺いたい。

答 委託事業は100%執行している。なお事業実施後に精算を行い、その結果、余剰分については返還するルールに基づき執行している。

問 工事及び業務委託の発注件数と請負金額及び市内業者の受注状況について伺いたい。

答 工事発注件数は2188件で、請負金額は27億5千万円余、業務委託発注件数は46件で、請負金額は3億5千

万円余である。また市内業者の受注状況は、工事が186件で、受注率85・32%、業務委託が16件で、受注率34・78%である。

問 株式会社シー・シー・ダブル訴訟関係に要した経費について伺いたい。

答 訴訟及び書類作成等に係る弁護士への報酬として、176万7千4百円支出した。

問 所得が入居基準に合わない市営住宅の入居者の実態と対応について伺いたい。

答 入居後に所得が基準を上回った入居者がいる実態がある。新たに居住先が決まるまでの時間的猶予を与えながら退去をお願いしている。

問 市営住宅の家賃長期滞納者への対応を伺いたい。

答 高額な滞納額になるので、生活が維持できる範囲で納付額を取り決めて、誓約書と支払い計画書に基づいて、納付をお願いしている。場合によっては、保証人及び勤務先にも協力依頼をしている。

問 市単教員を配置し複式学級を解消するなどして小規模校の教育に取り組んでいるが、今後更に進行する少子化を考慮する中で、小中一貫校に向けての考えを伺いたい。

答 一つの中学校の学区内には複数の小学校があることや、その他の面において、小中一貫校を検討する上においては様々な課題がある。小中一貫校とは別に、小中学校の連携を進めていくことは必要であると考えている。

問 市の防災倉庫及び各地域の防災倉庫の資機材や非常用物品の整備についての考えを伺いたい。

答 非常食や飲料水のほか、健康衛生用品やごみ袋等の消耗品類、またプライバシーを確保するためのパーテーション等を充実させていく。11地区31か所に設置してある地域の防災倉庫には、発電機や投光器等の資機材の他、折りたたみ式トイレ、ごみ袋等を整備していく。なお、食料品及びLPガスについては、災害時に手配が可能となる協定を締結して備えている。今後においてはドラッグストアやコンビニエンスストアとの協定についても進めていきたい。

要望事項

◆不用額が極力少なくなるように、適切な予算見積りを行うこと。

### 市政一般質問 (代表・一般)

平成26年9月定例会の市政一般質問が9月17日・18日に行われ、代表質問を3人の議員が、一般質問を8人の議員が行い、市政全般について市の考えをただしました。質問と答弁の要旨はつぎのとおりです。

## 代表質問

市民の会

古屋 雅夫 議員



〈主な質問と答弁〉

**問** 平和行政の具体的な推進について

核兵器廃絶平和都市宣言懸垂幕等の常設および平和教育の推進について。

**答** 市長 望月清賢

唯一の被爆国として核兵器廃絶を強く願うと共に可能であれば平和利用を望む「核兵器廃絶平和都市宣言」懸垂幕等の常設を検討したい。また恒久平和のため山梨市、日本を愛する「愛郷心を育む」施策に積極的に取り組む。

**問** 財政健全化への取組について

市長 望月清賢

財政の健全化を維持しつつ市民サービス等の充実を図るため、「選択と集中」の強化。平成27年度は人口減少、少子高齢化社会に対応したまちづくりを進めたい。新規事業については必要性、費用対効果を見極めて財源措置を行う。継続事業は実効性を検証し事業の廃止、縮小の検討により事業の再構築、最適化を目指し、財源確保に努める。また基金の取り崩しを少なくし、歳入に見合った財政運営を推進していく。

**問** 公共施設の管理・運営を含む今後の公共施設あり方について

市長 望月清賢

今年度は公共施設現況調査に基づく取りまとめを行い平成27年度に「長寿命化計画」と合わせた総合的な方針を検討し、平成28年度に公共施設等管理計画として公表できるように進める。

**問** 山梨市立産科施設建設構想について

市長 望月清賢

公設民営方式をとりたい。土地は山梨高校西側に確保し

たい。建物は市で建設、医療法人東雲会に指定管理する予定。建設コストに係る負担は産科医と応分の負担をして頂くことで大筋合意。高額医療器具は産科医に負担して頂くことで検討。委託業者の入札は特殊性があることから、設計は随意契約、建設は一般競争入札としたい。

**問** 岩手橋等周辺整備並びに市道七日市場一号线の強化推進について

市長 望月清賢

岩手橋の架替も視野に入れた中で、岩手橋周辺から甲州市に至る道路網整備は急務である。平成24年度には、公共事業の評価会議で調査が認められ、橋の架替や、甲州市側接続位置等の課題があるため甲州市と協議を進め検討を行うこととなっている。市は甲州市との連携強化を図り緊急時に強い道路として事業推進に向け県に働きかける。

**問** 甲府・峡東地域ごみ処理施設の操業に向けた本市の対応について

市長 望月清賢

新ごみ処理施設の工事は平成29年4月操業に向け本体工事に着手した。市としては、生ごみは直接回収し搬入、粗

大ゴミは市内に中継場所が必要と考える。なお場所については慎重に検討したい。またゴミ袋の市内(山梨地域と牧丘・三富地域)における統一価格化を目指し操業までに調整を図る。合わせてごみ収集回数についても地域事情、排出量等を考慮し判断し決定していきたい。

〈その他の質問〉●職員の人材育成及び新規採用等について ●ごみの減量化・エコ推進の取組について

山友会 飯嶋 賢一 議員



〈主な質問と答弁〉

**問** 雪害に対する助成金について

被災した農業用施設の撤去及び再建などに対する農業者への助成金について、助成金等の内容や進捗状況を伺いたい。

**答** 農林商工課長 若月 清

ハウス等農業施設の被害に関わる支援対策は、国の「被災農業者向け経営体育成事業」を活用し取り組んでおり、撤去については区分ごとに設

**問** 八幡バイパスの進捗状況について

現在、大工まで供用開始となっているが、水口地内フルーツラインまでの約1千200メートル区間についての進捗状況を伺いたい。また国道140号との接続交差点に信号機の早期設置の働き掛けをしたとのことであるが、現在の進捗状況を伺いたい。

**答** 建設課長 清水 一彦

大工地内からの700m区間については、詳細設計が終了し、現在用地測量調査を

実施している。その先の区間については、詳細設計を実施中とのことである。次に国道140号との接続交差点の信号機設置について、八幡バイパスの供用開始により渋滞が発生しており、県に信号機の設置をお願いしている。西関東連絡道路八幡南ランプの供用に併せ、信号機を設置すると伺っている。

**問** 橋上駅舎及び南口整備の進捗状況等について

山梨市駅の橋上駅舎について、駅舎の設計を進めているとのことだが、現在の進捗状況について伺いたい。また橋上駅舎と南口整備の全体スケジュールを伺いたい。併せて8月に実施した山梨市駅南口及び南北自由通路の整備方針と景観づくりに関する市民アンケートの状況について伺いたい。

**答** 市長 望月清賢 橋上駅舎について、年度内には詳細設計の協定をJR東日本と締結し、平成30年度末の完成を目指している。また南口を合わせた事業スケジュールについても予定どおり事業認可を8月に受けている。次にアンケート調査について、郵送での配布2千人の内、回答が771人、山梨市駅等の

回収箱による回答80人の計851人という、予想を上回る回答が得られた。今後はこれらの内容を分析し、12月までには整備方針等を決定したい。〈その他の質問〉●集中豪雨対策について●人口減少における財政運営について●旧市役所跡地の利活用について●認知症初期集中支援事業について●西沢渓谷への集客力を高める方策について●姉妹都市スーシテイ市の訪問を終えて

新翔会  
**武井寿幸** 議員



〈主な質問と答弁〉  
**問** 財政について  
財政力指数が山梨市は0.42と県内13市中最も低いため、自主財源のさらなる確保に向けた施策について伺いたい。

**答** 市長 望月清賢 既存の歳入の確保については適切な収納指導を行い収納対策の強化に努める。新たな歳入の創出については広告料収入、市所有財産から歳入に結びつく価値を発掘したい。またふるさと納税制度など本

市を応援する寄付金の拡大に資するよう努めたい。  
**問** 指定管理者制度について  
本市の20の施設を指定管理者制度により、管理運営を委託しており、年間総額で1億3千500万円を歳出しているが、どの様な行政効果があったか、また利用者へのサービス向上がなされているかおよび施設の運営管理状況を指導する管理監督責任が果たされているか伺いたい。

**答** 市長 望月清賢 制度導入前と比較すると人件費込みで概ね病院が6千380万円、その他の施設で4千850万円余の総計1億1230万円余の減額が図られると共に利用者の増加があり、行政効果が出ている。サービス向上については指定管理に対する苦情はなく、能力を生かしたサービス向上がなされている。  
管理状況の指導については法令遵守が明記されており、市民に施設を安心安全に利用頂けるよう、市として管理監督責任を果たすため事業報告時に施設の確認を実施している。

**問** 暴力団排除条例制定について  
山梨県警察本部から制定推進

を求める要請が各市町村にあり、県下27市町村中、本市を含め2市が条例が制定されていないが暴力団排除条例の制定の考えについて伺いたい。

**答** 市長 望月清賢 公共施設の利用に対する制限や祭礼等の露店の排除など、市で条例を制定した場合には県条例と相互関係が図られ、市民の安全、安心のまちづくりが推進されるメリットがあるので条例制定に向けて前向きに検討していきたいと考えている。

**問** 笹川中学校のプール解体とテニスコート整備について  
プールの濾過循環装置が故障して6年経ち、多額の費用が掛るため修理はしないとのことである。解体し、手狭なテニスコートを改修、整備拡張してはいかがか。

**答** 市長 望月清賢 以前よりプールの解体とテニスコートの整備を望む声が多いため、補助金や起債の活用を検討しながらテニスコートの整備を計画したいと考えている。

〈その他の質問〉●国民健康保険特別会計の収支の状況について●市税及び国民健康保険

税の滞納整理について●民生委員の活動支援について●全国学力テストの結果について●災害に対する対応について●子育て支援の計画策定について●東京方面からの西沢渓谷への観光客誘致について●牧丘町総合会館の現状と今後について

一般質問

公明党  
**大竹裕子** 議員



〈主な質問と答弁〉  
**問** 人口減少社会への本市の対策と地域活性化について  
年代別転出入を含めた、本市における人口減少の現状を伺いたい。また、市長の人口減少社会への対策と地域活性化についての考えを伺いたい。

**答** 市長 望月清賢 転入、転出の移動内訳では、転入の内65%が県内市町村からであり、転出の内58%が県内他市町村へとなっている。これらの動向をさらに分

は、転入の内65%が県内市町村からであり、転出の内58%が県内他市町村へとなっている。これらの動向をさらに分

析し、原因を把握する中で、人口減少対策を講じていく。まちづくりの重点施策を位置づける「チャレンジ・ミッション」を現在作成中であるが、人口減少対策を十分講じていく取組を考慮していきたい。

**問** 小中学生のネット依存対策について

ネット依存者に発生してくる問題として、視力の低下やエコノミークラス症候群、睡眠障害のほか、学業成績の低下や家庭内暴力などがある。教育現場でも対策を講じる必要があると思われるが、どのような対策を講じていくか伺いたい。

**答** 教育長 丸山森人

各小中学校で、児童・生徒、保護者を対象に、警察など関係機関と連携し、犯罪の実例の講話や、スマートフォンの使用法の学習会を実施し、啓発パンフレットを配布して解決に向け、取り組んでいる。今後も、ネット依存を含め、生徒指導等の問題に対応し、充実した学校、家庭生活の中で健全な児童・生徒の育成に努めていきたい。

〈その他の質問〉 ●ふるさと納税について ●集中改革プランについて ●防災対策と避難訓

練について  
市民の会  
深 沢 敏 彦 議員



〈主な質問と答弁〉

**問** 「ジェネリック薬品の利用拡大」について

①本市の調剤薬品のウエイトと、移行が可能な割合はどの位か伺いたい。  
②ジェネリック薬品への転換の最終目標値と年度目標はあるのか、また転換の進行状況。  
③今後の課題と達成手段。

**答** 市長 望月清賢

①平成25年度の調剤品の割合は約21%であった。ジェネリック薬品への移行可能な割合は、本年7月分で見ると約66%である。  
②本市での目標値は、疾病予防対策実施計画において、平成25年度23%、26年度25%、27年度30%に設定している。目標に対する進行状況は、本年3月分が約23%、7月分が約25%と順調に推移している。  
③今後は、「利用差額通知書」や「希望シール」の配布、保健師による助言、医師会・薬

剤師会等への協力要請に更に注力しながら、広報活動に工夫を凝らし、普及啓発に努めていく。

新翔会  
三 枝 正文 議員



〈主な質問と答弁〉

**問** ゴルフ場計画跡地活用の行方について

牧丘地域のゴルフ場計画跡地について、今までの経過と地域への説明、また今後の展開についての考え方を伺いたい。

**答** 市長 望月清賢

旧牧丘町から新市が引き継いだゴルフ場計画跡地約78万9千㎡(約79ヘクタール)は農地部分の約10ヘクタールを市民の憩いの森として整備する「花見山構想」を計画し、残りは山林の形態を保ちながら市有林として管理することとなっている。地域へは牧丘地域審議会で活用計画の説明を行っている。また、地元からの要望の農地集積については、4回の地権者等関係者との打合せを行ったが、全員の同意を得ることができず集積

を諦めた経過がある。平成27年度に野背坂線が完成予定となり、フルーツラインが全線開通する状況を受け、桜やカエデ等の樹木を植栽するとともに遊歩道を設置し、森林浴などを楽しむ市民の憩いの場や観光スポットとして活用が図れるように、市の総合計画と整合性を図り活用を進めていきたい。

**問** 校庭の散水施設設置について

市内小中学校のスプリンクラー等散水施設の設置状況を伺いたい。また未設置校については、設置の検討をお願いするとともに、考えを伺いたい。

**答** 教育長 丸山森人

散水施設の設置状況については、山梨地域の小中学校と笛川中学校に設置が完了しており、牧丘・三富地区の4小学校が未設置である。児童の健全教育は、快適な環境の中で行われなくてはならないと考えており、近隣住民や関係者から強い設置要望がある牧丘第一小学校への散水施設設置を検討していく。

〈その他の質問〉 ●自然景観を守る対策について  
日本共産党  
吉 田 昭 男 議員

〈主な質問と答弁〉

**問** 将来にわたって安心して出産できる地域づくりについて

①低すぎる助産師修学資金貸与制度の助成金を、県内修学の場合月額5万円、県外修学の場合月額10万円に引き上げることを求めたいかがかか。  
②出産後のケア体制を充実させる制度の確立と委託等の研究を求めたいかがかか。  
③出産施設建設は近隣自治体と協力し、公設民営を提案したいかがかか。

**答** 市長 望月清賢

①県内の他自治体の貸与額等を参考に、できる限りの支援を検討したい。  
②助産師が新生児訪問する「産後の安心」をサポートする取組の、中村産婦人科医院との連携、協力を検討したい。  
③当初建設コスト等の削減を図るべく、甲州市との連携を模索したが、建設場所の選定を含め、白紙からの検討であり、駅南の整備事業を考えた時、中村産婦人科医院の移転

は早急に方向性を出さなければならぬという時間的制約もあり、山梨市として単独実施での事業推進を判断した。医療法人東雲会中村産婦人科医院に指定管理をお願いし、公設民営で事業を推進したい。

**問** 公契約条例の制定について  
公契約条例制定の考えはあるのか伺いたい。

**答** 市長 望月清賢  
実効力ある制度とするには、国における法体系の整備が先決。現行制度の中で適正な労働条件の確保と品質の確保に努めたい。

〈その他の質問〉●公契約条例の制定について(過去2年間の工事・設備用品等の購入の総額と、市内事業者への発注額・率は。入札方法の基準と、落札の決定方法は。入札不調や入札辞退の事例と理由は。●税金、社会保障料の滞納整理は市民に寄り添った方法での執行を求める●介護保険制度の維持、発展を求める(要支援者切りの延期、保険給付の維持を求めたい等)

新翔会  
乙 黒 泰 樹 議員



〈主な質問と答弁〉

**問** 山梨市の産科医療確保について

市長から山梨市駅南地区再開発に関連する中村産婦人科医院移転に伴い、産科医療充実のため公設民営の運営方針が発表された。今後建設される施設の概要、中村先生の役割、中長期的な産科医療確保におけるビジョンを示されたい。また安全安心な周産期医療のため行政の関わりは必要だが、市民にとっては運営のリスクを背負うことになる。若い世代が積極的に山梨市に住みたいと思える市民への優遇措置についてプランを示されたい。

**答** 市長 望月清賢  
現在検討中の施設には、産婦人科の診療所に産後間もない母親の育児不安を軽減させる機能を持たせる予定であり、市で建設し中村産婦人科医院に指定管理者を委託する予定である。指定管理者は利用料金制により運営し、減価償却費相当額の負担金を市に納めてもらい、中村産婦人科医院に長く運営をお願いする予定だが、継続できなくなる場合も想定し助産師の確保を最重要課題として基本構想に位置付けていく。さらに中村

医院に指定管理してもらおうことで、新生児訪問や産後の安心をサポートする取り組みで連携を深めると共に、産後ケアに関する付帯施設に関わる料金について、市内市外の利用者で差異を設ける等、山梨市民にとってプラスとなるような検討を続けていく。

〈その他の質問〉●保育園における園庭の芝生化について●山梨市のスポーツ広場の活用について

山友会  
根津和博 議員



〈主な質問と答弁〉

**問** 万力公園における長寿命化計画策定後の進捗について

①計画では本年度よりトイレ、下水管、給水管が改修予定とされているが、どの様な改修を行うのか伺いたい。  
②近年パーベキューサイトの利用が多く、かまど近くに洗い場の新設を求める意見を良く聞くが検討してはいかがか。

**答** 市長 望月清賢  
①本年度、ちどり湖沿いの

のトイレの改修から着手する。改修内容については障がい者対策などに対応する多機能トイレに加え、更に既存部分も改修する。明年度以降残り4ヶ所のトイレも万力地区の下水道事業進捗に合わせ、平成29年までには下水道管と水道管の改修も行い、これらの埋設に合わせて園路広場の改修を進めていく。

②明年度利用の多い土手沿いかまどの改修と洗い場の設置を施設長寿命化計画に基づいて実施したい。

**問** 小中学校へ非常食の完備について

児童・生徒が学校にいる間に災害等が起こることも想定され、非常食の備蓄や毛布等の確保が必要と考えるが、見解を伺いたい。

**答** 教育長 丸山森人  
非常食の備蓄について、災害により帰宅できないことも想定し、児童・生徒分の乾パンとペットボトル入りの飲料水を備蓄して対応する。毛布についても、冬の災害を考えると無くしてはならないため、必要とする枚数を各学校で確認し、保護者の協力を得る中で準備していきたい。

〈その他の質問〉●山梨市立中

学校関東大会等出場報償金交付について●小型家電のリサイクルについて

新翔会  
矢崎和也 議員



〈主な質問と答弁〉  
**問** 子宮頸がん検診への本市の対応について

子宮がん検診を受ける事によってがんが病変する前の段階で見えてくる等の情報発信をどのように考えているのか。またHPV検査は導入されているのか。今年度より20歳のみが検診の無料クーポン交付の対象になったが、早期発見により重症化を防ぐ意味でも昨年度同様の交付対象に戻すべきと考えるがいかがか。ワケチン副反応への本市の対応は。

**答** 市長 望月清賢  
検診の必要性や重要性については乳幼児健診等若い保護者が集まる場に加え、今年度よりJAFフルーツ山梨女性部等他団体と連携して普及啓発を行っており、児童生徒に対して思春期事業により積極的に取り組む。HPV検査

に対する

については平成25年4月から臨床試験に参加しており、今後の指針や提言に沿って事業の見直しなど必要に応じ行う。クーポン交付対象拡大については検診の重要性を考え、来年度実施に向け検討する。ワクチンについては国の方針に則り勧奨の中断を継続する。

**問** 後屋敷小学校プール移設について

平成27年度着手の答弁を頂いているプール移設についての当局の考えを伺いたい。

**答** 市長 望月清賢  
小中学校普通教室へのエアコン設置と給食施設の改修を優先して実施していく。後屋敷小プール移設については他校に比べ狭い校庭の拡張に繋がる事も充分認識している。来年度予算に調査費を計上し地域の協力を頂く中で関係者と協議していく。

〈その他の質問〉●JR東山梨駅への防犯カメラ設置について  
市民の会

小野 鈴枝 議員



〈主な質問と答弁〉

**問** 山梨市男女共同参画社会推進条例について

平成17年に制定されてから9年が経過したこの条例の中の第3章「男女共同参画推進委員会」が市長の諮問機関となっているが、男女共同参画の推進のために、この諮問機関の見直しを図っていただきたいかがか。

**答** 市長 望月清賢  
男女共同参画推進委員会

は、16名に委嘱している。条例上諮問機関としての位置づけであるが、推進委員の活動に条例の規定が支障をきたしているとは思わないので、見直しは考えていない。委員それぞれの立場で推進をしていただけるようお願いをし、各分野で男女共同参画社会の実現のためにご協力いただいているところである。

**問** いじめ対策について

昨年9月の「いじめ防止対策推進法」の施行を受けての本市での取組状況について。

**答** 教育長 丸山森人  
市内の小中学校全てが、独自の「いじめ防止基本方針」を平成25年に作成している。各学校の制定を見て、「山梨市いじめ防止基本方針」の策定に向けて策定委員会を7月

設置した。27年度には策定された「山梨市いじめ防止基本方針」に基づき、連絡協議会や第三者委員会を発足させ、機能させていく計画である。

〈その他の質問〉●議案第五十一号「山梨市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例」と議案第五十二号「山梨市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例」について

常任委員会の審査

今定例会の各常任委員会は9月19日に開催され、付託議案について慎重に審査が行われました。質疑の要旨（抜粋）は次のとおりです。

総務

○議案第五十六号、平成26年度山梨市一般会計補正予算(第二号) 関係付託部分について

**問** 情報政策費における2億6千7百万円の補正について、追加の内容について当初計画と併せて伺いたい。

**答** 現在の住民情報系システムの情報機器のリース期間が平成27年度で終了するこ

とに加え、導入が予定されている「マイナンバー制」に対応できる機種へ更新の必要がある。このことから、入替準備を行うに当たり見積りをとった結果を受け、不足額について補正を行うものである。

建設経済

現地調査として、情報通信センター、山梨市防災倉庫の視察を行いました。

○議案第五十六号、平成26年度山梨市一般会計補正予算(第二号) 関係付託部分について

**問** 避難路沿道・大規模建築物耐震診断事業経費の補助率は。

**答** 国が3分の1、県と市が4分の1、本人負担が6分の1となる。本人負担は、

国に直接補助金の申請を行うと、交付を受ける事が出来るので本人の負担はない。

○議案第五十九号、平成26年度山梨市下水道事業特別会計補正予算(第一号) について

**問** 原材料費補正について、コンクリートますを塩ビ

ますに、取替するのはなぜか。

**答** コンクリートますは、場所をとり利用者には不便なため、コンパクトな耐震対応の塩ビますに取替をしている。

○議案第六十二号、平成26年度山梨市活性化事業特別会計補正予算(第一号) について

**問** 温泉施設の老朽化が進み修繕費用が増加してきて



いるが、日常点検はどのように行っているのか。

**答** 業者による定期点検の他、始業前に目視点検を行っている。今後も点検を欠かさず早めに対応をしていきたい。

現地調査として、鼓川温泉ポイラー施設、1級市道野背坂線、落合正徳寺線、小原東東後屋敷線の各道路状況の視察を行いました。

### 教育民生

○議案第五十六号、平成26年度山梨市一般会計補正予算(第二号) 関係付託部分について

**問** 山梨地域及び牧丘・三富地域でゴミ袋の統一を図

ることはできないか、また統一された場合ゴミ袋の価格差についてどのように考えるか。

**答** 現在は東山梨環境衛生組合の運営においては他市も関係しているため統一は困難であるが、平成29年4月以降の甲府・峡東地域ゴミ処理施設の稼働に向けて料金等を統一する方向で調整していく。その際には、ゴミ袋の価格差に係る値上げの有無及び基準について早めに考え方を明らかにしていきたい。

**問** 産婦人科施設建設事業に

ついて、基本構想は建物の構想のみか、運営に関しても構想は練られるのか。今後の運営について長期的な構想が必要ではないか。

**答** 中村産婦人科については個人の産婦人科ではなく、医療法人東雲会として運営している。現在医師も3人在籍しており、建物に空きがでてしまうことは短・中期的には考えにくいものと考えている。しかし、今後不測の事態に対応できるよう、病院と連携をとり、産科医及び助産師の確保に取り組んでいきたい。

**問** 昨年20・41%国保税が上がり、この税率のまま2

年間継続することであるが、現在の状況はどうか。

**答** 昨年税率を改正し、平成25年度は、実質3千500万円ほど余剰があった。26年度現在は医療費が前年並みで推移しており、今年度の決算は問題ないと考える。しかし年度途中であるので、樂觀はできない。

現地調査として、笛川中学校プール及び女子テニスコート、八幡保育園園庭の芝生化の視察を行いました。

### 学校給食施設の在り方検討委員会

先進自治体への研修を行いました

10月1日、学校給食施設の在り方検討委員会において、群馬県高崎市に視察に伺いました。高崎市の学校給食は、自校方式63施設とセンター方式4施設による完全給食を行っています。

【大竹裕子委員長所感】

高崎市の学校給食は、旧高崎市の方針に基づき、合併後も随時自校方式に切り替えている。自校方式は、センター方式と比較して1.5倍ほどの運営経費であるが、学校給食が果たす役割を重視する観点から自校方式を堅持する方針である。全ての給食施設に栄養士を配置し、食育や地産地消の推進についても積極的に取り組んでいる。毎月定期的に行う充実した内容の研修を継続することで高いスキルを保ちつつ、食物アレルギーに対応する適切な対応や、その日に把握したことを即座に翌日の献立に反映させるきめ細やかな取組など、自校方式のメリットを最大限に活かす運営を行っている。



### 議会改革特別委員会

山梨市議会・御意見箱を設置しました

山梨市議会では開かれた議会を目指し議会改革について議論を重ねてきました。これまでに、議会運営や政治倫理規程の見直し、議員定数の削減、政務活動費の使途基準などのルールづくり、また、見やすく親しまれる議会だよりの紙面構成やホームページの充実など、情報発信にも力を入れてきました。さらに、議会の動きや常任委員会での審議の結果と経過などを報告する、議会報告会の開催、議会基本条例の制定も検討されています。

その中で、より多くの皆様からのご意見をいただくこととの思いから、「山梨市議会・御意見箱」を、10月15日から市役所、支所、街の駅、市民総合体育館に設置し、アンケートへの回答や議会に対する自由意見を投書していただくものです。



# 常任委員会 行政視察研修

常任委員会による行政視察研修が、各々10月に行われまし  
た。研修テーマや各常任委員  
長の所感は次のとおりです。

## ◆総務常任委員会

①「ファシリティマネジメント推進事業」について（千葉  
県佐倉市）

②「女性消防団員」について  
（茨城県阿見町）

③「藤沢市公共施設再整備基  
本方針」について（神奈川県  
藤沢市）

## 【大竹裕子常任委員長所感】

①市長直轄の資産管理経営室  
で市全体に及ぶファシリテイ  
を総合的に把握することで、  
市有施設全体の効率的な管  
理・活用が可能になっている。  
今後の自治体経営では、いか  
にコストを抑えつつ施設効用  
を確保していくかが迫られる  
ため、参考となる手法である。  
②阿見町消防団女性部は、結  
成以来10年間、女性部ならで  
はの活動により任務を果たす  
ことで、消防団の中において  
お互いの存在を認め合う良好  
な関係を築いている。また良

好な環境を形成するルールが  
厳守されていることが、入団  
を促す決め手となっている。  
それぞれ職業を持ちながら消  
防団活動を継続する努力は、  
男性消防団員も同様だが、子  
育ての最中の女性消防団員に  
は、より一層の職場や家庭の  
理解と協力が必要である。

③施設の再整備の検討に当  
たっては、「義務施設」と「任  
意施設」に分類することで機  
能の必要性を明確にできる。  
施設の統廃合や機能移転によ  
り発生した空き施設の再利用  
及び解体も含め、再整備の必  
要性等について施設利用者・  
団体等、市民の意見や要望を  
聴き、理解を得ながら進める  
ことが求められる。

◆建設経済常任委員会

①「駅前北口再開発事業」に  
ついて（奈良県生駒市）

②「岸和田城周辺賑わい創出  
プラン」について（大阪府岸  
和田市）

③「阪急西山天王山駅周辺整  
備事業」について（京都府長  
岡京市）

## 【古屋弘和常任委員長所感】

①近鉄生駒駅周辺では、商業・  
医療・公益・住宅が一体となっ  
た駅前再開発が進み、環境や  
景観に配慮された緑化屋上広

場や太陽光パネル、巨大な壁  
面緑化が印象的であった。駅  
前はまちの顔のような存在で  
ある。本市においても、住み  
やすく持続可能なにぎわいを  
創出するために、官民協働で  
の取組の必要性を感じた。

②岸和田市と言えは「だんじ  
り」が有名だが、関西空港か  
ら大阪市へ行く外国の方に  
寄ってもらえるまちづくりが  
課題として挙げられており、  
地域の人々と来訪者が交流で  
きるまちづくりを基本コンセ  
プトとした取組がなされてい  
た。将来リニア高速新幹線が  
開通したときにも、山梨県駅  
（仮称）から山梨市へ来ても  
らうための取組が重要である。

③阪急西山天王山駅は、都市  
鉄道と高速道路が直結する交  
通結節点として注目される駅  
である。本市は高速道路から  
離れた位置にあるが、異なる  
交通機関同士の連絡・利便性  
を向上する長岡京市の取組は、  
観光客の誘致や住民の生活環  
境の向上にも非常に重要で、  
参考とする必要性を感じた。

◆教育民生常任委員会

①「認知症初期集中支援チー  
ム」について（長野県長野市）

②「子ども・若者総合サポー  
トシステム」について（新潟

県三条市）

③「再生可能エネルギー」に  
ついて（福島県会津若松市）

## 【古屋雅夫常任委員長所感】

①保健師や社会福祉士等から  
なるチームを地域包括支援セ  
ンターなどに配置し、本人や  
家族等を訪問し認知症の早期  
の発見・治療につなげ、自立  
生活のサポートを行う事業で  
あった。認知症になっても地  
域で暮らしていける環境を整  
備するために参考となる事例  
であった。

②乳幼児期から就学期の関係  
課を1つの課に集約し、支援  
を要する子ども・若者に対し  
乳幼児から就労に至るまで継  
続的な支援を実施していた。

組織の縦割りを乗り越え、切  
れ目のない個に応じた必要な  
支援を実現している優良事例  
として政策提言していきたい。

③自然環境と事業活動、日常  
生活とが調和した社会を目指  
す取組であり、情報通信技術  
を活用した「スマートシテイ  
会津若松」にも位置付けられ  
ている事業であった。今後の  
市民生活における安心・快適  
な社会を目指す取組は先進的  
な事例であり、新たな可能性  
を持つ事業と感じられた。

## 編集後記

議会だよりは年4回、定例  
会のあと、市議会が発行して  
おります。市役所より毎月発  
行される広報とともにお読み  
いただきますと、より市政、  
市議会の動きがお分かりいた  
だけるかと思えます。

また、前ページにも掲載い  
たしましたが、市議会の御意  
見箱を設置いたしました。市  
民の皆様の投書をお待ちして  
おります。

古屋 弘和  
議会だより編集委員会

委員長 大竹 裕子  
副委員長 古屋 雅夫  
委員 古屋 忠城  
木内 健司  
飯嶋 賢一  
古屋 弘和

## 12月定例会開催予定

- 1日(月) 開会
- 15日(月) 代表質問
- 16日(火) 一般質問
- 17日(水) 常任委員会
- 19日(金) 閉会

※全日程午前10時から開会予定